令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート(結果)

基本施策	具体的な事業取組状況 (PD)	KPI① 実績点数 (D)	KPI② 実績点数 (D)	KPI 課題捉方 (C)	KPI 改善方法 (A)	総合評価
“おうら”の地域産業振興プロジェクト	33.33点	7.50点	10.95点	7.19点	7.34点	66.31点
“おうら”人材育成、雇用創出プロジェクト	29.17点	15.00点	9.92点	6.25点	6.41点	66.75点
“おうら”の新たな産業の創出プロジェクト	25.00点	5.63点	—	6.72点	6.41点	43.76点
“おうら”の魅力発信プロジェクト	39.58点	15.00点	15.00点	7.81点	7.81点	85.20点
“おうら”の自然と文化を生かした観光交流プロジェクト	42.86点	15.00点	13.35点	7.19点	7.66点	86.06点
“おうら”移住・定住プロジェクト	27.08点	0.00点	15.00点	6.09点	7.19点	55.36点
“おうら”出会いサポートプロジェクト	18.75点	9.67点	11.70点	6.25点	6.09点	52.46点
すくすく子育て“おうら”プロジェクト	47.50点	12.00点	15.00点	7.19点	7.66点	89.35点
女性が輝く“おうら”プロジェクト	22.50点	12.06点	6.00点	5.78点	6.09点	52.43点
“おうら”の絆づくりプロジェクト	40.00点	15.00点	15.00点	7.81点	7.50点	85.31点
“おうら”の魅力創造プロジェクト	45.00点	13.31点	14.48点	7.66点	7.97点	88.42点
コンパクト&ネットワーク“おうら”プロジェクト	37.50点	15.00点	12.19点	7.66点	7.66点	80.01点
※点数上限が違う箇所があるので縦列の平均点を足し上げても総合平均点とは異なります。	/50点	/15or30点	/15点	/10点	/10点	/100点
平均	34.02点	11.26点	12.60点	6.97点	7.15点	70.95点

令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート

分類	基本目標	邑楽町でしごとをつくり安心して働く環境を創出する		プロジェクト 担当 及び	K P I ①担当課	商工振興課	
	基本プロジェクト	(1)「おうら」の地域産業振興プロジェクト			K P I ②担当課		
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	具体的な事業		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	1	中小企業の経営安定化に向けた融資事業	商工振興課	計画通り取り組んでいる	100	66.7	
	具体的な取組内容	制度融資中小企業振興資金を中心に、商工会及び金融機関と連携し融資実行を行った。中小企業の資金繰り支援を通して、経営安定と持続化を図れた。					
	2	商工連携による新商品研究開発促進事業	商工振興課	一部取り組んでいる	50	×係数	
	具体的な取組内容	邑楽町ぐんま新技術・新製品開発推進事業では1企業を採択し、補助金の交付を行い企業のイノベーション支援を図れた。また、商業関係の新商品研究開発推進事業については、事前に相談があったが申請には至らなかった。					
	3	「指定・推奨野菜」を生産する農業者への支援事業	農業振興課	一部取り組んでいる	50	50%	
	具体的な取組内容	邑楽町指定野菜等生産推進事業により、米麦だけでなく野菜を取り入れた複合経営への移行を推進した。					
	4	おうらブランド創出事業	農業振興課	あまり取り組んでいない	25	点数	
	具体的な取組内容	群馬県や邑楽館林農業協同組合の助言をもとに、おうらブランドを付与するのに適当な農産物を検討している。					
5	地域内での地元農産物の利用拡大事業	農業振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	33.33		
具体的な取組内容	生活研究グループ連絡協議会が中心となり、地元農産物を使用し、「食の交流会」などで料理の紹介や提案を行った。また、あいあいセンターでは地元農産物や加工品の販売、農村レストランでの地元食材を利用したランチの提供や新メニューの開発研修(2回)を行った。地産地消協議会においても、各種イベントで地元農産物の販売やPRを行った。						
6	大手製造業OB活用事業	商工振興課	計画通り取り組んでいる	100			
具体的な取組内容	中小企業に対する大手製造業OBによる、きめ細やかな支援により、国・県の補助金の採択に結びついた。このことから、商工会への支援について、その実効性が担保された。						
7	具体的な取組内容						
8	具体的な取組内容						
9	具体的な取組内容						
10	具体的な取組内容						
目標 K P I ① (D)	KPI①	融資制度活用企業数(途中年度目標上方修正)				達成率	
	目標 R2	30社	現状 H26	14社		50.0% ×係数	
	年度	目標	成果	達成率		15 点数	
	H27	31.0 社	31.0 社	100.0%		7.5	
	H28	43.0 社	43.0 社	100.0%			
	H29	45.0 社	33.0 社	73.3%			
	H30	45.0 社	27.0 社	60.0%			
	R1	28.0 社	14.0 社	50.0%			
	R2	30.0 社	#N/A	#N/A			
目標 K P I ② (D)	KPI②	「指定・推奨野菜」栽培に向けた申請件数				達成率	
	目標 R2	100件	現状 H27	68件		73.0% ×係数	
	年度	目標	成果	達成率		15 点数	
	H27	80.0 件	68.0 件	85.0%		11.0	
	H28	85.0 件	77.0 件	90.6%			
	H29	90.0 件	78.0 件	86.7%			
	H30	95.0 件	86.0 件	90.5%			
	R1	100.0 件	73.0 件	73.0%			
	R2	100.0 件	#N/A	#N/A			
分析 (C)	CHECK				課長会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】令和元年10月に消費税が10%に増税したことにより、設備投資を控える企業が増加したため、設備投資に係る融資案件が前年度比20%減少している。また、デフレによる物価の持続的な下落により、企業が新たな設備投資を抑制していることも要因と考えられる。 【KPI②】申請者数は減少したが、申請面積は増加している。農業者の高齢化により、今後も申請者の減少が想定されるが、若手農業者が規模拡大の意向を示しているので、申請面積は現状維持または増加が見込まれる。				課題の捉え方	平均点数	
改善 (A)	ACTION				課長会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決及び改善しますか。 【KPI①】新型コロナウイルス感染症の拡大により、中小企業は資金繰りの安定化をまず図ると思慮される。このことから、運転資金の融資案件が増加すると判断できる。このことを踏まえ、中小企業振興資金における融資内容を一部改定し、保証料と利子補給(3年間)を全額補助する。そうした支援策を講じたことにより、振興資金の需要が高まると考えている。 【KPI②】県やJAの取組と連携し、補助金等をPRLながら、取組者の増加を目指す。				解決・改善の捉え方	平均点数	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 66.31点 /100点	
	33.33点 /50点	7.50点 /15点	10.95点 /15点	7.19点 /10点	7.34点 /10点		

令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート

分類	基本目標	邑楽町でしごとをつくり安心して働く環境を創出する		プロジェクト 担当 及び	K P I ①担当課 K P I ②担当課	農業振興課	
	基本プロジェクト	(2)“おうら”人材育成、雇用創出プロジェクト					
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	具体的な事業		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	1	技能習得・能力向上支援事業	商工振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	58.3	
	具体的な取組内容	一般労働者や学生等の能力開発と技術向上を図るため、産業技術専門学校や職業訓練校を始めとした専門分野に特化した組織を支援し、就労促進等を図った。					
	2	青年就農給付事業	農業振興課	一部取り組んでいる	50	×係数	
	具体的な取組内容	昨年度に引き続き2名の新規就農者へ所得を確保するための給付金を支給した。群馬県や邑楽館林農業協同組合と連携し、安定した経営を支援するとともに、栽培技術面での支援を行った。					
	3	就農研修生受入農家支援事業	農業振興課	あまり取り組んでいない	25	50%	
	具体的な取組内容	群馬県・邑楽館林農業協同組合と連携し、新規就農希望者を対象にした農業体験や研修等を行った。町内から1名の参加があったが、その後の就農には至っていない。					
	4	おうらヤングブラザ活用事業	生涯学習課	概ね計画通り取り組んでいる	75	点数	
	具体的な取組内容	毎月第一土曜日の夜に青年キャリア相談を実施。青年の就職や転職、キャリアアップについての相談に応じる内容で実施したが、電話での問い合わせのみとなっていた。					
5	ふるさと学生Uターン事業	学校教育課	あまり取り組んでいない	25	29.17		
具体的な取組内容	若者のUターンを促進するため、奨学金等の返還支援について、他の自治体の取組を調べた。						
6	グローバル人材育成事業	学校教育課	概ね計画通り取り組んでいる	75			
具体的な取組内容	ALTの全校配置と中学校英語科教諭の小学校兼務及び小学校英語専科教諭による小小連携を通して、児童生徒の英語のコミュニケーション能力の向上や小学校担任の外国語活動に係る授業力の向上を図った。また、夏休みのイングリッシュ・キャンプやハロウィンイベントを開催した。						
7	ひとり親家庭等の在宅就業支援事業	子ども支援課	一部取り組んでいる	50			
具体的な取組内容	県の就労支援について、在宅に限らず幅広い支援を行っているため、その案内や相談室の周知などの情報提供を図った。						
8	高齢者活力センター運営事業	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75			
具体的な取組内容	高齢者の生きがいと就業機会の提供を目的としており、公共の公園等管理や民間の植木剪定や除草などを行っている。						
9	障がい者雇用促進事業	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75			
具体的な取組内容	ハローワーク等の関係機関と連携して、障がい者の就労を支援しました。また、県等で実施する職業能力開発に関する講習会や障がい者就職面接会のチラシ等を配布して、参加促進を支援しました。						
10	具体的な取組内容						
目標	KPI①	認定農業者数				達成率	
	目標 R2	120人	現状 H26	105人	100.0%		
K P I ① (D)	年度	目標	成果	達成率			
	H27	106.0 人	108.0 人	100.0%			
	H28	108.0 人	107.0 人	99.1%			
	H29	110.0 人	112.0 人	100.0%			
	H30	112.0 人	118.0 人	100.0%			
	R1	115.0 人	128.0 人	100.0%			
	R2	120.0 人	#N/A	#N/A			
15.0	×係数	15	点数				
目標	KPI②	高齢者活力センター登録者数(実人数)				達成率	
	目標 R2	180人	現状 H26	122人	66.1%		
K P I ② (D)	年度	目標	成果	達成率			
	H27	125.0 人	116.0 人	92.8%			
	H28	130.0 人	126.0 人	96.9%			
	H29	140.0 人	117.0 人	83.6%			
	H30	160.0 人	113.0 人	70.6%			
	R1	180.0 人	119.0 人	66.1%			
	R2	180.0 人	#N/A	#N/A			
9.9	×係数	15	点数				
分析 (C)	CHECK				課長会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】農業者の高齢化や後継者不足 【KPI②】若年会員の獲得を目指して、会員の拡大を図ったが、十分な成果が出せなかった。				課題の捉え方	平均点数	
改善 (A)	ACTION				課長会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決及び改善しますか。 【KPI①】県やJAと連携し、新たな担い手の確保に努める。新たな認定農業者の発掘・認定を推進する。またすでに認定農業者として認定を受けている農業者については、再認定を促す。そのほか、認定農業者協議会が行う活動の支援を行う。 【KPI②】事業について、広く住民に周知するとともに、会員拡大を図るため、社協だよりやホームページ等を活用していく。また、邑多福まつりやヤングフェスティバル等に参加して、啓発を図る。既存会員に対して、事故防止と健康維持に取り組む離脱防止に努めていく。				解決・改善の捉え方	平均点数	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)	
	29.17点 /50点	15.00点 /15点	9.92点 /15点	6.25点 /10点	6.41点 /10点		66.75点 /100点

令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート

分類	基本目標	邑楽町でしごとをつくり安心して働く環境を創出する			プロジェクト 担当 及び	K P I ①担当課 K P I ②担当課	商工振興課		
	基本プロジェクト	(3)“おうら”の新たな産業の創出プロジェクト							
P D C A (P D)	PLAN 具体的な事業				DO				
		1	企業誘致推進事業	商工振興課	一部取り組んでいる	50	進捗	進捗平均	
			具体的な取組内容	企業立地奨励金交付要綱を平成31年3月に制定したが、町内に誘致できる産業団地がないため、具体的な取組にはつなげられていない。				50.0	
		2	創業支援事業	商工振興課	一部取り組んでいる	50	×係数		
			具体的な取組内容	商工会と連携した創業支援施策として、ワンストップ相談窓口を引続き設置し、その支援を図った。					
		3						50%	
			具体的な取組内容						
		4						点数	
			具体的な取組内容						
		5						25.00	
			具体的な取組内容						
		6							
			具体的な取組内容						
		7							
			具体的な取組内容						
	8								
		具体的な取組内容							
	9								
		具体的な取組内容							
	10								
		具体的な取組内容							
目 標 K P I ① (D)	KPI①	創業支援事業による起業事業者(店舗)数				※H27は新規事業のため、定量ではなく定性目標で評価 (計画の認定を目標1とし達成の場合は成果1)		達成率	
	目標 R2	17件		現状 H27	新規		18.8%		
	年度	目標	成果	達成率		×係数			
	H27	1.0 件	1.0 件	100.0%		30			
	H28	2.0 件	0.0 件	0.0%		点数			
	H29	4.0 件	2.0 件	50.0%		5.6			
	H30	8.0 件	3.0 件	37.5%					
R1	16.0 件	3.0 件	18.8%						
R2	17.0 件		#N/A						
目 標 K P I ② (D)	KPI②					達成率			
	目標 R2			現状			—		
	年度	目標	成果	達成率		×係数			
	H27					—			
	H28					点数			
	H29					—			
	H30								
R1			#N/A						
R2			#N/A						
分 析 (C)	CHECK 目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】今後、商工会と連携を強化したうえで、創業支援のワンストップ窓口のPRが必要だと思慮される。また、創業後5年未満の者でも創業支援は受けられる等、知られていない情報等もあり、そうした情報をいかに発信していくかも、今後の課題だといえる。				課長会評価欄 課題の捉え方 平均点数				
					A~Eの5段階評価 A10点 0 B7.5点 11 C 5点 5 D2.5点 0 E 0点 0				
改 善 (A)	ACTION 来年度以降、上記の課題をどのように解決及び改善しますか。 【KPI①】邑楽町で創業するメリットを広くPRする必要があるとともに、経営相談や金融相談等が一気通貫で行える体制の構築が必要であると思慮される。また、個人事業主が町外で工場や店舗等を構えたとしても、住民登録が邑楽町にあれば、税収に結びつくと、そういった人の場合でも支援が受けられる施策の要件緩和が考えられる。				課長会評価欄 解決・改善の捉え方 平均点数				
					A~Eの5段階評価 A10点 0 B7.5点 9 C 5点 7 D2.5点 0 E 0点 0				
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)			
	25.00点 /50点	5.63点 /30点	— 一点	6.72点 /10点	6.41点 /10点	43.76点 /100点			

令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート

分類	基本目標	邑楽町への新しい人の流れをつくる		プロジェクト 担当 及び	KPI①担当課	子ども支援課	
	基本プロジェクト	(4)“おaura”の魅力発信プロジェクト			KPI②担当課		
P D C A (P D)	PLAN			DO			
	具体的な事業			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	様々な媒体を活用した本町の魅力発信事業		商工振興課	計画通り取り組んでいる	100	79.2
	具体的な取組内容	群馬テレビや館林ケーブルテレビ、FMぐんま等を積極的に利用し情報発信を行った。また、4月には群馬マステーションキャンペーン(プレDC)に合わせて、観光情報に特化したHP「邑楽日和」を開設した。					
	2	子育てに関する町ホームページの充実事業		子ども支援課(企画)	計画通り取り組んでいる	100	×係数
	具体的な取組内容	出産祝金、児童手当、幼稚園、保育園、認定こども園、学童保育所などの子育てに関する情報の提供を図り、各種申請用紙をダウンロードして利用できるようにしている。					
	3	ふるさと納税充実事業		総務課	計画通り取り組んでいる	100	50%
	具体的な取組内容	ふるさと納税の調査研究を行い、返礼品のラインナップを充実させるため、町内業者への依頼を行った。ふるさと納税サイトを増やしたことにより、寄付額の増加につながった。					
	4	地元農産物の販売促進事業		農業振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	点数
	具体的な取組内容	あいあいセンターでの地元農産物の継続的な販売及び県内外や町内での各種イベントに出店し、邑楽町産農産物を販売している。また地産地消協議会が認定農業者協議会と連携し、町内イベント等で地元農産物の販売、PR活動を行った。					
	5	町外の学生への就職情報配信事業		商工振興課	あまり取り組んでいない	25	39.58
具体的な取組内容	一般労働者や学生等の能力開発と技術向上を図るため、産業技術専門学校や職業訓練校を始めとした専門分野に特化した組織を支援し、就労促進等を図り、就職に結びつけた。						
6	ご当地ヒーロー活用事業		商工振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75		
具体的な取組内容	スワンジャー実行委員会を支援することで、町のPRの促進を図った。また、キャラクターデザインをパンフレットやチラシ、タワーチケット等に刷り込みご当地キャラとしての知名度を広げる取組も行った。						
7							
具体的な取組内容							
8							
具体的な取組内容							
9							
具体的な取組内容							
10							
具体的な取組内容							

目標	KPI①	ホームページアクセス数(数値:企画/目標:子ども)				達成率
	目標 R2	310000アクセス		現状 H26	200000アクセス	
K P I ① (D)	年度	目標	成果	達成率		×係数 15 点数 15.0
	H27	280,000.0	アクセス 239,899.0	アクセス 85.7%		
	H28	280,000.0	アクセス 229,247.0	アクセス 81.9%		
	H29	290,000.0	アクセス 206,794.0	アクセス 71.3%		
	H30	290,000.0	アクセス 229,410.0	アクセス 79.1%		
	R1	300,000.0	アクセス 313,410.0	アクセス 100.0%		
	R2	310,000.0	アクセス	アクセス #N/A		

目標	KPI②	ふるさと納税金額				達成率
	目標 R2	15000000円		現状 H26	396400円	
K P I ② (D)	年度	目標	成果	達成率		×係数 15 点数 15.0
	H27	400,000.0	円 675,000.0	円 100.0%		
	H28	600,000.0	円 747,000.0	円 100.0%		
	H29	700,000.0	円 870,000.0	円 100.0%		
	H30	800,000.0	円 1,560,000.0	円 100.0%		
	R1	1,000,000.0	円 10,602,000.0	円 100.0%		
	R2	15,000,000.0	円	円 #N/A		

分析(C)	CHECK		課長会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】今後も引き続き必要に応じて、ホームページの情報整理を行う必要がある。 【KPI②】返礼品がビールに偏っている状態であり、邑楽町をアピールするような返礼品とはなっていない状況である。返礼品の提供事業所と協力をしながら、邑楽町をアピールできるような商品の開発等が必要。		課題の捉え方	平均点数
			A~Eの5段階評価 A10点 4 B7.5点 10 C 5点 2 D2.5点 0 E 0点 0	7.81

改善(A)	ACTION		課長会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決及び改善しますか。 【KPI①】最新情報を発信できるよう、情報収集や情報内容の精査を行い、国・県・他の自治体の情報も参考にしながら改善していく。 【KPI②】ふるさと納税において、邑楽町をアピールするために、ホームページの充実(生産者の声や紹介等)を行っていく。新たな返礼品を充実させられるように、町内事業所への協力依頼を行う。		解決・改善の捉え方	平均点数
			A~Eの5段階評価 A10点 4 B7.5点 10 C 5点 2 D2.5点 0 E 0点 0	7.81

評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	39.58点 /50点	15.00点 /15点	15.00点 /15点	7.81点 /10点	7.81点 /10点		85.2点 /100点

令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート

分類	基本目標	邑楽町への新しい人の流れをつくる		プロジェクト 担当 及び	K P I ①担当課	商工振興課		
	基本プロジェクト	(5)“おうら”の自然と文化を生かした観光交流プロジェクト			K P I ②担当課			
P D C A (P D)	PLAN				DO			
	具体的な事業				担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	中央公園活用事業		商工振興課	計画通り取り組んでいる	100	85.7	
	具体的な取組内容	おうら祭り、産業際、光のページェントHIKARI MIRAI等数々の大型イベントを中央公園で実施し、交流人口の増加につながった。						
	2	観光イベント活発化事業		商工振興課	計画通り取り組んでいる	100	×係数	
	具体的な取組内容	東京国際フォーラムで開催された「町イチ！村イチ！」、群馬デスティネーションキャンペーン(プレDC)に係る全国宣伝販売促進会議、旅行エージェント向けエクスカッション(現地視察)に積極的に参加し、邑楽町のPRを強力に推し進めた。						
	3	体験型観光事業		商工振興課(農振)	概ね計画通り取り組んでいる	75	50%	
	具体的な取組内容	群馬デスティネーションキャンペーン(本番DC向け)における観光素材として、JA邑楽館林ミートセンターと連携し、手作りウイナー教室などを登録し全国的にPRするための取組を行った。						
	4	平地林活用事業		生涯学習課	計画通り取り組んでいる	100	点数	
	具体的な取組内容	多々良沼公園での子どもまつりや、おうらヤングプラザ事業でのキッズアウトドア体験教室などで平地林を活用した。						
5	広域観光周遊ルート形成事業		商工振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	42.86		
具体的な取組内容	ググッとぐんま観光宣伝推進協議会等を通して、町の観光素材を提供する一方で、群馬デスティネーションキャンペーン(本番DC向け)の観光素材との組み合わせによる東毛地域の観光ルート造成にもつながった。							
6	ふるさとの名物開発支援事業		農業振興課	一部取り組んでいる	50	42.86		
具体的な取組内容	あいあいセンターでは、赤飯、炭酸まんじゅうのほか、ニガウリやもち米を生かした加工品などを生産・販売しています。新たな品目についても、引き続き開発に取り組んでいますが、製品化には至ってません。							
7	国際交流事業		学校教育課	計画通り取り組んでいる	100	42.86		
具体的な取組内容	イングリッシュ・キャンプでは、様々な国のALTと英会話に慣れ親しんだりする経験を通して、英語や外国の文化に興味を持ち、グローバルに活躍できる人材育成をめざした。また、ハロウィンイベントでは、ALTから欧米の文化について学び、ゲームを通して小学生と中学生で異年齢交流を行った。							
8								
9								
10								

目標 K P I ① (D)	KPI①	観光イベントの参加者数				達成率
	目標 R2	52000人		現状 H26	51000人	
	年度	目標	成果	達成率		×係数
	H27	51,100.0 人	51,000.0 人	99.8%		15
	H28	51,300.0 人	52,000.0 人	100.0%		15.0
	H29	51,500.0 人	53,000.0 人	100.0%		
	H30	51,700.0 人	53,000.0 人	100.0%		
R1	51,800.0 人	54,000.0 人	100.0%			
R2	52,000.0 人	#N/A	#N/A			

目標 K P I ② (D)	KPI②	シンボルタワー入場者数				達成率
	目標 R2	17500人		現状 H26	13512人	
	年度	目標	成果	達成率		×係数
	H27	13,500.0 人	13,082.0 人	96.9%		15
	H28	14,000.0 人	13,771.0 人	98.4%		13.4
	H29	14,500.0 人	12,556.0 人	86.6%		
	H30	15,000.0 人	13,860.0 人	92.4%		
R1	17,000.0 人	15,133.0 人	89.0%			
R2	17,500.0 人	#N/A	#N/A			

分析 (C)	CHECK				課長会評価欄		
	<p>目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。</p> <p>【KPI①】観光イベントの参加者数においては、対前年度比102%を計上しており、大型イベント等を通して着実な増加をみせている。</p> <p>【KPI②】シンボルタワー入場者数においては、対前年度比109%を計上しており、イベント等を通して着実な増加をしている。</p> <p>さらなる誘客促進に向けた取組が必要となる。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の入込客数は減少すると思慮される。</p>				課題の捉え方	平均点数	
						A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.19

改善 (A)	ACTION				課長会評価欄		
	<p>来年度以降、上記の課題をどのように解決及び改善しますか。</p> <p>【KPI①】プロモーションの強化が誘客につながることは言うまでもない。群馬デスティネーションキャンペーンを利用した観光素材のPR等を積極的に行いたい。</p> <p>【KPI②】歩いて登ろう健康ウォークについても利用者数を伸ばせるような付加価値のある事業(105回達成ノベルティグッズの配布等)と連携した取組を行いたい。PRとイベント拡充に力を入れ、もって誘客促進を狙う。</p> <p>ただし、新型コロナウイルス感染症流行が今後不透明で、長期化するといわれているなかで、観光施策の展開は非常に困難を極めることは確かである。県の警戒レベルや近県の状況等を総合的に判断し、その時々状況を慎重に見極めながら、今後のイベント等の開催を判断していきたい。</p>				解決・改善の捉え方	平均点数	
						A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.66

評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≒	総合評価(点数)
	42.86点 /50点	15.00点 /15点	13.35点 /15点	7.19点 /10点	7.66点 /10点		86.06点 /100点

令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート

分類	基本目標	邑楽町への新しい人の流れをつくる		プロジェクト 担当	K P I ①担当課	企画課	
	基本プロジェクト	(6)“おうら”移住・定住プロジェクト		及び	K P I ②担当課		
P D C A (P D)	PLAN			DO			
	具体的な事業			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	町営住宅の紹介事業		都市建設課	計画通り取り組んでいる	100	54.2
	具体的な取組内容	町ホームページ上で、町営住宅・県営住宅の所在・入居資格・手続き等について案内している。					
	2	勤労者住宅資金融資事業		商工振興課	あまり取り組めていない	25	×係数
	具体的な取組内容	金融機関等に情報提供しているが、融資に結びついていない。今後金利が上昇すればセーフティネット的な役割を当該制度が果たすことはあるが、やはり現在のデフレ経済の中では、制度の見直しが急務である。					
	3	住宅リフォーム支援事業		商工振興課	計画通り取り組んでいる	100	50%
	具体的な取組内容	当初予算800万円を確保したが、消費税増税の駆け込み需要が急増したため、9月補正予算200万円を計上した。最終交付額は、9,901千円にのぼった。					
	4	空き家有効活用事業		商工振興課(安安)	取り組めていない	0	点数
	具体的な取組内容	具体的な取組は行っていない。					
5	おうらの暮らし体験ツアー事業		企画課	概ね計画通り取り組んでいる	75	27.08	
具体的な取組内容	おうらの暮らし体験ツアーを町HPで発信し、また町内不動産業者店舗内に配架するなど周知を行っている。都内で実施している移住相談会来場者にも直接事業内容を説明をするなど町への移住の契機としてもらうべく取組んだ。						
6	移住・定住支援団体設立事業		企画課	あまり取り組めていない	25		
具体的な取組内容	移住検討者にコミュニティの情報提供や移住相談等も対応出来る移住コンシェルジュとしての団体設立の調査研究を行った。						
7							
8							
9							
10							

目標	KPI①	おうらの暮らし体験ツアー事業参加者世帯				※H27は新規事業のため、定量ではなく定性目標で評価 (ツアーの企画書作成を目標1とし達成の場合は成果1)	達成率
	目標 R2	5組		現状 H27	新規		
K P I ① (D)	年度	目標	成果	達成率		×係数	
	H27	1.0 組	1.0 組	100.0%			
	H28	2.0 組	0.0 組	0.0%			
	H29	3.0 組	0.0 組	0.0%			
	H30	4.0 組	0.0 組	0.0%			
	R1	5.0 組	0.0 組	0.0%			
	R2	5.0 組	#N/A 組	#N/A			
達成率					0.0		

目標	KPI②	住宅リフォーム補助金制度利用数				達成率
	目標 R2	55件		現状 H26	45件	
K P I ② (D)	年度	目標	成果	達成率		×係数
	H27	47.0 件	43.0 件	91.5%		
	H28	49.0 件	60.0 件	100.0%		
	H29	51.0 件	52.0 件	100.0%		
	H30	53.0 件	54.0 件	100.0%		
	R1	55.0 件	77.0 件	100.0%		
	R2	55.0 件	#N/A 件	#N/A		
達成率					15.0	

分析 (C)	CHECK		課長会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。		課題の捉え方	平均点数
	<p>【KPI①】事業内容を町HPで発信し、移住相談会来場者に直接説明をするなど周知している。しかし、年間数件の問合せを頂いているが、実施には至っていない。</p> <p>【KPI②】81件の申請があり77件の交付決定を行った。予算執行率は99%と高い水準を維持することができた。この事業を依然知らない町民もあり、苦情等もあることから、周知も適宜しっかり行いたい。</p>		A~Eの5段階評価 A10点 0 B7.5点 8 C5点 7 D2.5点 1 E0点 0	6.09

改善 (A)	ACTION		課長会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決及び改善しますか。		解決・改善の捉え方	平均点数
	<p>【KPI①】・首都圏等で開催される移住相談会で、直接移住希望者に周知し、定住のきっかけ作りとして継続して参加を呼びかける。・おうら祭などのイベント時でのツアーの開催を検討するなど、定住検討者にこだわらず関係人口増の施策としても研究を重ねていく。・参加希望者の中には、町内での無料宿泊を希望される方も多いため、施設整備も研究していく。</p> <p>【KPI②】町の経済循環率を直接高める施策なので、今後も継続して事業の展開を図りたい。また、広報紙やHP等を利用した制度の周知等も切れ目なく行いたい。</p>		A~Eの5段階評価 A10点 3 B7.5点 12 C5点 3 D2.5点 0 E0点 0	7.19

評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	27.08点 /50点	0.00点 /15点	15.00点 /15点	6.09点 /10点	7.19点 /10点		55.36点 /100点

令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート

分類	基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		プロジェクト 担当 及び	K P I ①担当課 K P I ②担当課	商工振興課	
	基本プロジェクト	(7)“おうら”出会いサポートプロジェクト					
P D C A (P D)	PLAN			DO			
	具体的な事業			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	若者の就労支援事業		商工振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	37.5
	具体的な取組内容	ぐんま若者サポートステーションと連携した若者の就労支援を行った。					
	2	勤労者レクリエーション交流事業		商工振興課(生涯)	概ね計画通り取り組んでいる	75	×係数
	具体的な取組内容	企業の法定外福利厚生サービスに対する支援として、邑楽町労使教育委員会と連携して、レクリエーション事業等の充実を図り、勤労者の福祉向上に努めました。					
	3	出会いの機会提供事業		商工振興課(生涯)	取り組めていない	0	50%
	具体的な取組内容	出会いの機会提供事業は、課を横断的に行う事業であり、民間結婚相談所もあることから、その取組については、今後の研究課題といえる。					
	4	結婚サポーター養成事業		子ども支援課(健福・住民)	取り組めていない	0	点数
	具体的な取組内容	結婚サポーター養成として、県が実施している養成講座等への参加の推奨活動ができなかった。					
	5						18.75
6							
7							
8							
9							
10							
目 標 K P I ① (D)	KPI①	勤労者向けのレクリエーションイベント参加者数					達成率
	目標 R2	295人		現状 H26	254人		64.5%
	年度	目標	成果	達成率	×係数		15
	H27	260人	323人	100.0%	9.7		
	H28	265人	314人	100.0%			
	H29	270人	251人	93.0%			
	H30	280人	149人	53.2%			
	R1	290人	187人	64.5%			
	R2	295.0人	#N/A				
	目 標 K P I ② (D)	KPI②	婚姻届出数				
目標 R2		101件		現状 H26	86件	78.0%	
年度		目標	成果	達成率	×係数	15	
H27		88件	85件	96.6%	11.7		
H28		90件	81件	90.0%			
H29		93件	79件	84.9%			
H30		96件	78件	81.3%			
R1		100件	78件	78.0%			
R2		101.0件	#N/A				
分 析 (C)		CHECK					
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】邑楽町労使教育委員会の事業として取組んでいる学級講座事業とレクリエーション事業については、例年バスツアーが主なメニューになっている。令和元年度事業では、ツアー数を集約し内容を充実させ、参加費を押さえたことで、前年度より参加者は増加したものの、若い勤労者の参加が依然少ない。 【KPI②】若年者は非正規雇用者も多く、そのことが若年未婚者の結婚意向や出産意向を低くしていることが、婚姻数の増加につながらない要因のひとつと考えられる。					課題の捉え方	平均点数
改 善 (A)	ACTION					課長会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決及び改善しますか。 【KPI①】若い勤労者やその家族が参加しやすいレクリエーション事業等を検討する必要がある。例えば、若い夫婦が参加できるように、保育付きレクリエーション事業等も考えられる。一方で、事業のPR不足もあり町内事業所に情報が届いていないケースもあることから、PR方法等も改善事項として挙げられる。 【KPI②】町内企業の人材確保や雇用の安定を図るため、商工会及び町内企業と連携し企業PRすることで、若年層の正規雇用者の確保につなげる。収入が安定することで、若い世代が家族形成することができ、経済的自立もできるものであり、少子化対策にも寄与するものと考えられる。					解決・改善の捉え方	平均点数
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	18.75点 /50点	9.67点 /15点	11.70点 /15点	6.25点 /10点	6.09点 /10点		52.46点 /100点

令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート

分類	基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	プロジェクト 担当	K P I ①担当課	子ども支援課		
	基本プロジェクト	(8)すくすく子育て“おうら”プロジェクト		及び	K P I ②担当課		
P D C A (P D)	PLAN			DO			
	具体的な事業			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	両親学級事業	健康福祉課	計画通り取り組んでいる	100	95.0	
	具体的な取組内容	母親の仲間づくりと父親の育児参加を目的として、妊婦とその夫を対象に1コース3日間で、4回/年実施しました。内容については、妊娠中の生活、出産(呼吸法)、育児(沐浴や母乳栄養の推進)、歯科保健に関する知識の普及等実施しました。					
	2	不育症治療費助成事業	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75	×係数	
	具体的な取組内容	不育症治療を受けている夫婦への経済的支援で、保険適用外部分について1年あたり1回で上限30万円まで、通算5年(回)まで助成します。広報やホームページ等で住民や医療機関への周知を図ります。母子健康手帳交付時、アンケートや面接から得た情報を基に、流産をくり返している妊婦の相談にのるなどしています。					
	3	出産祝金事業	子ども支援課	計画通り取り組んでいる	100	50%	
	具体的な取組内容	第1子 50,000円、第2子 100,000円、第3子200,000円の支給を継続実施。					
	4	保育料多子軽減事業(幼稚園・保育園等)	子ども支援課	計画通り取り組んでいる	100	点数	
	具体的な取組内容	幼児教育・保育無償化の対象となっていない児童に対し、保育料の第2子1/2 第3子以降全額補助を継続実施。					
	5	学童保育多子軽減事業(学童保育所)	子ども支援課	計画通り取り組んでいる	100	47.50	
	具体的な取組内容	保育料の上限額8,000円/月に対し、第2子1/2 第3子以降全額補助を継続実施。					
	6	子ども医療費無料化事業	住民課	計画通り取り組んでいる	100		
	具体的な取組内容	中学生までの医療費無料化に加え、町単独事業として平成28年4月診療分から高校生世代の入院のみ無料化を開始し、継続した。					
7	学童クラブ運営事業	子ども支援課	計画通り取り組んでいる	100			
具体的な取組内容	小学校区ごとにある町立の4つの児童館において、放課後児童クラブも実施し、就労等により昼間に保護者がいない児童への健全育成を図っており継続的な運営を実施している。						
8	民間放課後児童健全育成事業支援事業	子ども支援課	計画通り取り組んでいる	100			
具体的な取組内容	町内3か所の民間学童保育所「いちばんぼし」「くらかげ広場(第1・第2)」で、就労等により昼間に保護者害ない児童への健全育成を図っており、継続的な運営を支援している。						
9	学校給食費減免事業	学校教育課	概ね計画通り取り組んでいる	75			
具体的な取組内容	少子化対策及び子育て支援による保護者の経済的負担の軽減を図るため、幼稚園児の給食費を減免していたが、原則無償化した。						
10	ファミリー・サポート・センター事業	子ども支援課	計画通り取り組んでいる	100			
具体的な取組内容	育児の援助を受けたい「おねがひ会員」と援助を行える「まかせて会員」などからなる会員相互援助活動で、まかせて会員の募集及び研修を実施。また、事業の周知と、おねがひ会員の募集を行い組織体制の構築に努めた。						

目標	KPI①		第3子以降の出生数			達成率
	目標 R2	35人	現状 H26	24人	達成率	
K P I ① (D)	年度	目標	成果	達成率		
	H27	31.0 人	32.0 人	100.0%		
	H28	32.0 人	35.0 人	100.0%		
	H29	33.0 人	29.0 人	87.9%		
	H30	34.0 人	15.0 人	44.1%		
	R1	35.0 人	28.0 人	80.0%		
	R2	35.0 人	#N/A	#N/A		
達成率	80.0%				×係数	
点数	15				12.0	

目標	KPI②		両親学級参加者数			達成率
	目標 R2	82人	現状 H26	70人	達成率	
K P I ② (D)	年度	目標	成果	達成率		
	H27	72.0 人	80.0 人	100.0%		
	H28	74.0 人	67.0 人	90.5%		
	H29	76.0 人	57.0 人	75.0%		
	H30	78.0 人	78.0 人	100.0%		
	R1	80.0 人	92.0 人	100.0%		
	R2	82.0 人	#N/A	#N/A		
達成率	100.0%				×係数	
点数	15				15.0	

分析 (C)	CHECK		課長会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。	【KPI①】出産祝金の事としては昨年度比、第3子以降の出生は増えている。 【KPI②】対象となる妊婦届出者は年々減少傾向にあります。両親学級参加者は増減が見られます。勤労妊婦の増加や病院・産院で受講する妊婦もいますが、町の学級に参加してよかったと思えるよう、魅力ある内容の充実に努めます。	課題の捉え方	平均点数
			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.19

改善 (A)	ACTION		課長会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決及び改善しますか。	【KPI①】出産祝金事業の要綱改正を行い、令和2年度から住所要件を6ヶ月から1年へ変更した。更に町への定住を図っていけるように制度の見直し検討を行っていく。 【KPI②】両親学級修了者の会の充実で子どもが生まれてからの仲間づくりを推進し、妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援を充実させます。また、両親学級は町以外でも実施しているため、町の学級に参加して良かったと思えるよう、実施内容や開催日程、勤労妊婦や父親の参加へも配慮します。	解決・改善の捉え方	平均点数
			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.66

評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)
	47.50点 /50点	12.00点 /15点	15.00点 /15点	7.19点 /10点	7.66点 /10点	

令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート

分類	基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		プロジェクト 担当 及び	K P I ①担当課	農業振興課	
	基本プロジェクト	(9)女性が輝く“おうら”プロジェクト			K P I ②担当課		
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	具体的な事業		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	1	ワーク・ライフ・バランス普及啓発事業	商工振興課	あまり取り組めていない	25	45.0	
	具体的な取組内容	国、県等から送付されるポスターやパンフレット等を配架し、その啓発を行った。					
	2	父親への育児啓発推進事業	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75	×係数	
	具体的な取組内容	母子健康手帳交付時、男性が積極的に育児に関わっていけるよう副読本を全員に配布しました。また年4回(1コース3日間)開催している両親学級の場合は、父親向けに妊婦体験スーツを身に付けてもらい、妊婦疑似体験をしてもらったり、男性の積極的な子育てと家事参加を促しました。					
	3	サービス業就労拡大事業	商工振興課	あまり取り組めていない	25	50%	
	具体的な取組内容	ハローワークからの求人情報等を庁舎内と図書館に掲示、配架し情報提供を行った。					
	4	輝く女性農業者育成事業	農業振興課	あまり取り組めていない	25	点数	
	具体的な取組内容	邑楽町生活研究グループ連絡協議会の活動支援を継続的にを行い、女性農業者等の社会参画の促進が図れた。					
5	人権啓発活動推進事業	住民課	概ね計画通り取り組んでいる	75	22.50		
具体的な取組内容	少子高齢化社会の進行、家族構成や就労形態の多様化など、社会状況が大きく変化していく中で、女性の社会進出が不可欠となっている。しかし、現実には夫やパートナー等からの暴力など女性に対する人権侵害は深刻なものとなっており、町民の人権意識の普及高揚をはかるため、人権啓発活動講演会を開催した。						
6	具体的な取組内容						
7	具体的な取組内容						
8	具体的な取組内容						
9	具体的な取組内容						
10	具体的な取組内容						
目 標 K P I ① (D)	KPI①	女性農業従事者数					達成率
	目標 R2	500人		現状 H26	463人		80.4%
	年度	目標	成果	達成率			×係数
	H27	480.0 人	402.0 人	83.8%	15		
	H28	485.0 人	402.0 人	82.9%			
	H29	490.0 人	402.0 人	82.0%			
	H30	495.0 人	402.0 人	81.2%			
	R1	500.0 人	402.0 人	80.4%			
	R2	500.0 人	#N/A	#N/A			
	目 標 K P I ② (D)	KPI②	「群馬県育児いきいき参加企業認定制度」優良企業数				
目標 R2		31社		現状 H26	16社	40.0%	
年度		目標	成果	達成率		×係数	
H27		18.0 社	20.0 社	100.0%	15		
H28		21.0 社	16.0 社	76.2%			
H29		24.0 社	14.0 社	58.3%			
H30		27.0 社	14.0 社	51.9%			
R1		30.0 社	12.0 社	40.0%			
R2		31.0 社	#N/A	#N/A			
分 析 (C)		CHECK					
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】女性農業者のほとんどは、家族経営で行っているため、農家数の増減がそのまま農業者数や女性農業者数に反映する。農業者の減少を食い止めることが重要である。 【KPI②】当制度について、認定企業を増やす取組はできていない。ちなみに当制度は平成27年4月より「群馬県いきいきGカンパニー認証制度」に名称変更した。					課題の捉え方 平均点数 A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点 0	
改 善 (A)	ACTION					課長会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決及び改善しますか。 【KPI①】引き続き生活研究グループ及びあいあいセンターの活動支援を行うとともに、県やJAと連携し、女性農業者等の人材発掘や経営参画のための講座等を行う。また、6次産業化の可能性についても引き続き検討する。 【KPI②】今後は県との連携を深め、制度の優位性を企業にPRする取組が必要である。					解決・改善の捉え方 平均点数 A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点 0	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	22.50点 /50点	12.06点 /15点	6.00点 /15点	5.78点 /10点	6.09点 /10点		52.43点 /100点

令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート

分類	基本目標	安心して暮らせる魅力的なまちをつくる		プロジェクト 担当	K P I ①担当課	企画課	
	基本プロジェクト	(10)“おうら”の絆づくりプロジェクト		及び	K P I ②担当課		
P D C A (P D)	PLAN			DO			
	具体的な事業			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	地域包括ケアシステム構築事業	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75	80.0	
	具体的な取組内容	在宅医療・介護連携相談センターたておうが中心となり医療と介護の連携に努めました。認知症についての理解と対応等について学ぶ認知症サポーターの養成や認知症ケアパスの周知、認知症の方やその家族が集える認知症カフェを町内に2カ所配置するなどの体制整備に取組みました。					
	2	見守りネットワーク事業	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75	×係数	
	具体的な取組内容	安否確認を兼ねた配食サービスの継続や、見守り協定を締結している民間企業などと見守りを行った。					
	3	消防力の充実・強化事業	安全安心課	概ね計画通り取り組んでいる	75	50%	
	具体的な取組内容	消防団ポンプ車の計画的な更新を行った他、詰所1棟の更新を行い、消防設備の充実を図った。また、今後10年間における常備及び非常備消防の資機材更新計画を策定し、今後の消防力充実への体制作りに努めた。					
	4	通学路安全推進事業	安全安心課	概ね計画通り取り組んでいる	75	点数	
	具体的な取組内容	年度当初に行う通学路安全推進会議や行政区からの要望等を基に、外側線や道路反射鏡等の交通安全施設の適切な設置及び維持補修を実施した。					
	5	協働のまちづくり事業	企画課	計画通り取り組んでいる	100	40.00	
具体的な取組内容	令和2年度は、新規の6団体を含む10団体が総額954,345円の協働事業に取組み、町は626,000円の事業補助を行い、地域課題の解決が継続的に図れた。事業実施に際しては、住民の柔軟な発想と活力を活用することにより、補助金額以上の住民サービスの提供ができ、協働活動の活性化に繋げることが出来た。						
6	具体的な取組内容						
7	具体的な取組内容						
8	具体的な取組内容						
9	具体的な取組内容						
10	具体的な取組内容						

目標	KPI①	町と町民活動団体との協働事業数(年間)				達成率
	目標 R2	10件		現状 H27	5件	
K P I ① (D)	年度	目標	成果	達成率		
	H27	5.0	5.0	100.0%	15	
	H28	6.0	5.0	83.3%	15	
	H29	6.0	4.0	66.7%	15	
	H30	7.0	11.0	100.0%	15	
	R1	8.0	10.0	100.0%	15	
	R2	10.0	#N/A	#N/A	15.0	

目標	KPI②	消防団員充足率				達成率
	目標 R2	100%		現状 H26	100%	
K P I ② (D)	年度	目標	成果	達成率		
	H27	100.0	100.0	100.0%	15	
	H28	100.0	100.0	100.0%	15	
	H29	100.0	100.0	100.0%	15	
	H30	100.0	100.0	100.0%	15	
	R1	100.0	100.0	100.0%	15	
	R2	100.0	%	%	15.0	

分析(C)	CHECK	課長会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。	課題の捉え方	平均点数
	<p>【KPI①】町広報紙、HP、区長会定例会等で周知を図った結果、新たな地域課題の解決が図れた。今後もより多くの団体が活動して頂けるよう周知及び啓発を行う必要がある。</p> <p>【KPI②】消防団員充足率について、現状100%を維持できているが、年々新規団員の勧誘が難しくなっている。</p>	A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.81

改善(A)	ACTION	課長会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決及び改善しますか。	解決・改善の捉え方	平均点数
	<p>【KPI①】広報紙やHPなどで引き続き事業周知を図っていくとともに、区長会などの団体の会議においても説明・参加を継続して呼びかけていく。</p> <p>【KPI②】現状は充足率100%を維持できているものの、新規団員勧誘は年々困難となってきている。非常備消防は、地域の消防力維持には不可欠なため、より魅力ある活動とするため、報酬や福利厚生面の充実がより必要であると考え</p>	A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.50

評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	40.00点 /50点	15.00点 /15点	15.00点 /15点	7.81点 /10点	7.50点 /10点		85.31点 /100点

令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート

分類	基本目標		安心して暮らせる魅力的なまちをつくる		プロジェクト 担当 及び	K P I ①担当課 K P I ②担当課	生涯学習課	
	基本プロジェクト		(11)“おうら”の魅力創造プロジェクト					
P D C A (P D)	PLAN				DO			
	具体的な事業				担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	多々良沼公園管理事業		都市建設課	概ね計画通り取り組んでいる	75	90.0	
	具体的な取組内容	芝刈り・草刈り・清掃業務は高齢者活力センターに委託し、植栽管理業務は造園業者に委託し適正な管理に努めている。						
	2	文化財保護伝承事業		生涯学習課	計画通り取り組んでいる	100	×係数	
	具体的な取組内容	町指定文化財展「鏡後の邑楽町」、外来魚駆除大作戦を開催。文化財保護活動として高島小学校のトウグミの保護養生、石打慶徳寺での文化財防火訓練を実施。群馬県の近世寺社総合調査や古河往還現地踏査への協力。周知の遺跡地内での開発行為にかかる届出の受理、指導、試掘確認調査の実施。民具を中心とした有形民俗文化財寄付受付及びその保存。					50%	
	3	「ふるさと学」推進事業		生涯学習課	計画通り取り組んでいる	100	点数	
	具体的な取組内容	粉食文化を中心とした郷土料理教室、町内河川でとれるマコモダケの収穫調理体験教室の実施。町指定無形民俗文化財2団体を含む邑楽町伝統芸能フェスティバルの実施。						
	4	学校生活充実事業		学校教育課	概ね計画通り取り組んでいる	75	45.00	
	具体的な取組内容	老朽化した学校施設や設備の改修等を行い、教育環境の改善を図った。(庶務係)就学費用の負担に心配のある児童生徒の保護者に対して就学に必要な費用を援助した。(学校教育係)						
5	生涯学習・社会教育充実事業		生涯学習課	計画通り取り組んでいる	100	45.00		
具体的な取組内容	中央公民館開館準備事業及び中央公民館開館記念事業から発展した、おうら虹色カーニバルや関連事業としてクラシックジャズやクラシックバレエ、南米音楽などを邑楽町ゆかりのアーティストや住民と共に実施できた。							
6	具体的な取組内容							
7	具体的な取組内容							
8	具体的な取組内容							
9	具体的な取組内容							
10	具体的な取組内容							
10	具体的な取組内容							
目標 K P I ① (D)	KPI①	指定文化財展来場者数				達成率		
	目標 R2	550人		現状 H26	492人		88.7%	
K P I ① (D)	年度	目標	成果	達成率		×係数 15 点数 13.3		
	H27	500.0 人	437.0 人	87.4%				
	H28	510.0 人	352.0 人	69.0%				
	H29	520.0 人	338.0 人	65.0%				
	H30	530.0 人	600.0 人	100.0%				
	R1	540.0 人	479.0 人	88.7%				
	R2	550.0 人	#N/A 人	#N/A				
目標 K P I ② (D)	KPI②	社会教育施設利用人数				達成率		
	目標 R2	240000人		現状 H26	293765人		96.5%	
K P I ② (D)	年度	目標	成果	達成率		×係数 15 点数 14.5		
	H27	287,000.0 人	294,977.0 人	100.0%				
	H28	290,000.0 人	289,824.0 人	99.9%				
	H29	293,000.0 人	286,814.0 人	97.9%				
	H30	296,000.0 人	303,291.0 人	100.0%				
	R1	299,000.0 人	288,655.0 人	96.5%				
	R2	240,000.0 人	#N/A 人	#N/A				
分析 (C)	CHECK				課長会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】【KPI②】外来魚駆除大作戦では、日本釣振興会員を中心にボランティアが組織され運営に携わっている。今後、町の文化財紹介ガイドなどほかの保護伝承事業を行うときの知識を持っているボランティアスタッフの確保が必要になる。また令和元年度は、中央公民館が開館して1周年目にあたり、新たな施設の特徴を生かし様々な文化芸術事業を充実させた。今後は、一過性の取り組みに終わることのないような長期的な視野と仕組みづくり、明確な方針の上に立った取り組みを進めていく必要がある。				課題の捉え方	平均点数		
改善 (A)	ACTION				課長会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決及び改善しますか。 【KPI①】【KPI②】文化財にかかる教室講座を開催し、文化財をサポートする人材を養成し、その受講者を中心にボランティアへの参加を呼びかけ、組織化する必要がある。利用者や町民のニーズの把握に努めると共に、①企画や事業の魅力をより前面に出した事業の展開②これまでの利用者層と違った年齢や階層にターゲットを絞った特徴ある企画及び事業③広報紙やポスターに加えて、SNSを最大限に活用した広報宣伝方法を活用していく必要がある。特に邑楽町ならではの独自性を生かし、交流人口の増大につながるような魅力的な事業を考えていく。				解決・改善の捉え方	平均点数		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)		
	45.00点 /50点	13.31点 /15点	14.48点 /15点	7.66点 /10点	7.97点 /10点		88.42点 /100点	

令和元年度 邑楽町総合戦略施策評価シート

分類	基本目標		安心して暮らせる魅力的なまちをつくる		プロジェクト 担当 及び	K P I ①担当課 K P I ②担当課	都市建設課				
	基本プロジェクト		(12)コンパクト&ネットワーク“おうら”プロジェクト								
P D C A (P D)	PLAN					DO					
	具体的な事業					担当課	取組状況	進捗	進捗平均		
	1	土地利用対策事業		都市建設課		計画通り取り組んでいる	100	75.0			
	具体的な取組内容		H30.5運用開始した「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」に基づき、市街化調整区域における町のまとまりについて今後の方向付けを行った。								
	2	公共交通ネットワーク形成事業		企画課		計画通り取り組んでいる	100	×係数			
	具体的な取組内容		町の公共バス2路線【邑楽～太田線と館林・邑楽・千代田線】の運行事業者へ運行補助を行い運行維持を図った。また、持続可能な公共交通ネットワークの形成を目指し、公共交通に関する住民アンケート、地域懇談会を実施するなど、「館林都市圏地域公共交通網形成計画」策定に向けた基礎調査を行った。								
	3	買い物困難者支援事業		健康福祉課		あまり取り組んでいない	25	50%			
	具体的な取組内容		生活支援体制整備事業の協議体(住民主体による共助を行う団体)によるモデルケースとして中野東小学校区で、買い物困難者を対象に送迎ボランティアによる買い物支援を行った。								
	4	公共施設マネジメント推進事業		総務課		概ね計画通り取り組んでいる	75	点数			
	具体的な取組内容		個別施設計画の策定及び総合管理計画の改訂を行った。個別施設計画により、町内施設の長寿化に務めた。また、PPP/PFI事業について、協会の研修会にも参加し研究を深めた。								
	5	具体的な取組内容									
6	具体的な取組内容										
7	具体的な取組内容										
8	具体的な取組内容										
9	具体的な取組内容										
10	具体的な取組内容										
					37.50						
目 標 K P I ① (D)	KPI①	国県道を含めた町内道路の改良率								達成率	
	目標 R2	61%		現状 H26	59.19%						100.0%
	年度	目標		成果		達成率					×係数
	H27	59.2	%	59.4	%	100.0%					15
	H28	59.4	%	59.8	%	100.0%					点数
	H29	59.6	%	60.3	%	100.0%					15.0
	H30	59.8	%	60.3	%	100.0%					
R1	60.0	%	60.9	%	100.0%						
R2	61.0	%		%	#N/A						
目 標 K P I ② (D)	KPI②	公共バス利用者数								達成率	
	目標 R2	28300人		現状 H26	27700人						81.3%
	年度	目標		成果		達成率					×係数
	H27	27,750.0	人	27,625.0	人	99.5%					15
	H28	27,800.0	人	26,957.0	人	97.0%					点数
	H29	27,900.0	人	25,622.0	人	91.8%					12.2
	H30	28,100.0	人	23,097.0	人	82.2%					
R1	28,300.0	人	23,002.0	人	81.3%						
R2	28,300.0	人		人	#N/A						
分 析 (C)	CHECK					課長会評価欄					
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】交付金等の特定財源の確保が難しく進捗に遅れが出ているため、引き続き国・県への要望を行っていく 【KPI②】利用者数(H30)23,097人(館9,754人+太13,343人)-(R1)23,002人(館11,350人+太11,652人)=前年度比-95人となっており、利用者数は大きな増減はない。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校措置、在宅勤務等の影響で両線ともに3月の利用者数が減少しているが、特に、邑楽～太田線は顕著である。 ・2021年度運行開始予定であった高崎市から館林市間を繋ぐBRT事業(バス高速輸送システム)が関係機関の協議無く県判断で急凍結状態となった。					課題の捉え方	平均点数				
					A～Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点					7.66	
改 善 (A)	ACTION					課長会評価欄					
	来年度以降、上記の課題をどのように解決及び改善しますか。 【KPI①】県の管理する広域的幹線道路は局部的ではあるが改善されており、引きつづき要望を行っていく ・町の管理する道路については、幹線道路・生活道路ともに特定財源の確保に努め毎年一定程度の整備を推進していく 【KPI②】多様な交通手段の確保を図るため、一時凍結状態となっている県のBRT事業(バス高速輸送システム)に対して、早期事業再開に向け、周辺市町とともに県への働きかけを行う。 ・館林都市圏地域公共交通網形成計画を策定し、公共交通の利便性向上のため、路線の再編成や経路、ダイヤの再構築を検討する。 ・高齢者や幼少者向けの「バスの乗り方教室」を実施するなど、周知・理解と利用促進を図っていく。					解決・改善の捉え方	平均点数				
					A～Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点					7.66	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)					
	37.50点 /50点	15.00点 /15点	12.19点 /15点	7.66点 /10点	7.66点 /10点	80.01点 /100点					